

令和 4 年

活動方針

天理教学生担当委員会

— 目 次 —

◆ 令和4年 学生担当委員会活動方針	2
◆ 学生担当委員会行事計画について	3
◆ 教区学生担当委員会の活動	4
◆ 直属学生担当委員会の活動	9
◆ 親里における諸行事	13
◆ 刊行物・販売物・その他	16

令和4年 天理教学生担当委員会 活動方針

〔基本方針〕

共に教祖のようばくに育つ

重点項目

一、日常の丹精の継続

〈ひのきしん〉の推進

学生と共にひのきしんを行い、そのなかで学生の話に耳を傾け、徳積み
の大切さや信仰の喜びを伝えていく。

〈別席〉の推進

なぜ別席を運ぶのかを説明し、学生が自ら進んでおさづけを取り次げるよ
うに丹精する。

一、おちばや教会につながる活動の推進

学生が、教祖の道具衆であるようばくに育つためには、できるところからでも
活動を進めていきたい。

しかし、単に行事を再開するだけではなく、これまで以上に参加した学生に寄
り添い、おちばや教会につながることを意識した活動に取り組む。

立教185年 学生担当委員会 行事計画

月	学生担当委員会行事
1	例会(25) 学生生徒修養会大学の部 スタッフ事前研修会(27～29)
2	例会(25)
3	学生生徒修養会大学の部 第1回スタッフ直前研修会(1日) 学生生徒修養会大学の部 第1回(2～6日) 学生生徒修養会大学の部 第2回スタッフ直前研修会(7日) 学生生徒修養会大学の部 第2回(8～12日) 例会(25) 春の学生おぢばがえり(28)
4	例会(25) まなびば研修会(26～27)
5	教区・直属担当者講習会(25) 例会(25) 学生生徒修養会 高校の部 準備会議(26)
6	例会(25) 学生生徒修養会 高校の部 スタッフ事前研修会(27～28)
7	例会(25)
8	※学生生徒修養会 高校の部 スタッフ直前研修会 ※学生生徒修養会 高校の部 ※日程に関しては2月25日例会にて発表予定 教区・直属担当者講習会(25) 例会(25)
9	道の学生ひのきしんDAY 例会(25)
10	例会(25)
11	例会(25) 担当者大会(25) 育成に役立つ研修会(27～28)
12	例会(25)

～教区学生担当委員会の活動～

▼ 「春の学生おちばがえり」(P.13) への参加の声掛け

春の学生おちばがえりは、学生にとって一年の活動の集大成の場であり、新たな一歩を踏み出す仕切りの行事です。学生たちの動員活動に理解ある後押しを、また担当委員として一人でも多くの学生たちに声掛けをよろしくお願いします。

▼ 高校生の集い「まなびば」の開催

高校生の年代は、子どもから大人へと成長していく過渡期であり、人格形成の上で非常に大切な時期と言えます。学生担当委員会では、信仰に目覚め、別席を運ぶ時期を迎える高校生たちに、彼らの生活地域において、同年代の仲間とのつながりを深め、お道の教えにふれる場を提供していきたいとの思いから、各地域において高校生の集い「まなびば」の開催をしています。

▼ 高校生の集い「まなびば」教区事前研修会の開催

「まなびば」では、スタッフの行動を通し、参加者一人ひとりの心に信仰を伝えることが大きなポイントになります。スタッフが開催の趣旨やプログラムの進め方を十分に把握できるよう事前研修会を開催しています。

(大学生の集い「Work&Talk」)

大学生・短期大学生・大学院生・専門学校生を対象に行う「Work&Talk」は、彼らの自主的な信仰活動を育むことをねらいとする育成行事です。

この行事は、大学生がブロック単位で交流を深めることのできる貴重な場であり、また、にをいがけやひのきしんなどの実践を共にすることを通して、お道について思うところを存分に語り、互いに刺激し合い信仰を深めることを目的としています。

▼ 例会 (P.14) への出席

本部で行う例会等へは、担当委員長をはじめ、参加対象の方は必ずご出席ください。

▼ 「学生層育成者講習会」の開催

学生層をはじめとする道の後継者の育成は、単にその任をいただいている者たちだけのつとめでは、細やかな丹精はできません。教区の様々な役職にある方々や、管内教会長夫妻をはじめ、大勢の方々にその意義をご理解いただき、連携を深め、育成に

教区学生担当委員会の活動

携わっていただく必要があります。活動方針に添った育成や「まなびば」への動員・啓蒙の上からも、各教区において「学生層育成者講習会」をご開催ください。

▼ 学生層育成者の各種本部研修会への参加

- ◇ 育成に役立つ研修会 (P.14)

▼ 「教区 育成に役立つ講習会」の開催

本講習会は、開催を希望される各教区のニーズに合わせて、講習会のプログラムを相談のうえ作成し、本部より委員1名とスタッフ若干名が出向いたします。(例：グループワークを体験したい・エクササイズやアイスブレイクをたくさん学びたい・トレーナーができるスタッフを増やしたい・学生層育成に関わるメンバーのチームワークを高めたいなど)

参加者一人ひとりが人材育成の現場において即戦力となり、スタッフ間のチーム力を高める上にも有効な講習会です。

▼ 学生会活動への支援

天理教学生会は、教区学生会、直属学生会が同じ組織のもとに活動しており、会則第三条「本会は天理教内学生が一手一つに結び合い、自主的な活動により、相互の信仰と学識の向上と親睦をはかり、有為なる用木となる事を目的とする。」を会の主旨とし、「道の成人目標」を定めて活動の指針としています。以下の通り、本部開催行事の参加促進や教区学生会活動への支援など、様々な活動を行っています。

- ◇ 道の学生成人目標

- 一、生かされていることに感謝しよう
- 一、お道の素晴らしさを伝えよう
- 一、進んで教会につながろう

- ◇ 本部開催行事への参加促進と、その取りまとめ

- ・「おせち学生ひのきしん隊」(P.13)
- ・「こどもおちばがえり学生ひのきしん隊」(P.13)
- ・「委員総会」
- ・「夏期リーダーの集い」

- ◇ 教区学生会活動への支援

- ・「教区学生会総会」
- ・「道の学生ひのきしん DAY」

教区学生担当委員会の活動

- ・ 常時活動（清掃・慰問・献血などのひのきしん、徒歩団参、別席団参、おてふり・鳴物練習、教理勉強、教会・会員まわりなど）

◇ 学生会リーダーの養成

- ・ 教区、ブロックでの「リーダー研修会」

学生会のリーダーは、ほぼ一年毎に交代しますので、上記の研修以外にも、常時、育成の上にご丹精くださいますようお願いいたします。

▼ Happist の活用

学生層育成のための Happist は、“明日につながる学生 Website”として、次のようなねらいをもって編集・発信しています。

- ①お道の教えを正確に伝え、生き方や考え方を示唆する。
- ②学修や春学など、おちばでの行事や各地の学生会の行事・情報を提供する。
- ③共通の話題を提供し、教内学生相互の連帯感をつくり出す。

学生生徒修養会や高校生の集い「まなびば」をはじめとする親里、教区、直属などの育成行事への参加呼びかけの上に、引き続き Happist をご活用ください。

〔URL〕 <https://happist.net/>

○Happist の主な内容

【教えにふれる】

- ・ 教えをまなぶ（教理を学ぶコーナー）
- ・ ちょっとだけいい話（旧・信仰エッセー）
- ・ 私立はっぴす学園（漫画・ドラマ）

【Happist ニュース】

- ・ Happist ニュース（各行事のレポートなど）
- ・ Happist フォト（各行事のフォトギャラリー）

【各行事の案内】

- ・ 学生生徒修養会、春の学生おちばがえり、学生ひのきしん隊、道の学生ひのきしん DAY、まなびば、などの行事紹介

【学生会】

- ・ 学生会からのお知らせ
- ・ 教区・直属学生会紹介

教区学生担当委員会の活動

- ・ Happist スマイル（学生のはじける笑顔をポートレート写真で紹介）
- ・ 天理教学生会とは（天理教学生会の活動目的や年間行事一覧など）

【About Us】

- ・ Happist とは
- ・ お問い合わせ
- ・ 担当者ページへ

▼ ハッピスト ノット ネット『HAPPIST [NOT] NET』の活用

ハッピスト ノット ネット
学生への丹精の一助として、学生に手渡しできるリーフレット『HAPPIST [NOT] NET』（カラー・A6 版・4 ページ）を毎月発行します。本紙は毎月 25 日に発行し、各教区・大教会に 30 部、直属分教会に 5 部ずつを配布させていただきますので、ぜひとも学生への声掛けにご活用ください。

なお、追加の希望があれば学生担当委員会事務局までご連絡ください。

▼ 『別席のすすめ』の活用（P.16）

17 歳になると別席を運ぶことができます。『別席のすすめ』を活用し、教区・支管内の学生生徒に別席を運ぶことを積極的に勧めていただきますようお願いします。

▼ 教区管内一れつ会扶育生への丹精

各教区では、教区長が「一れつ会教区委員長」として、また、教区主事が「一れつ会教区委員」として委嘱されており、毎年 4 月末から 5 月半ばまでの間に、新扶育生（各地高校生）とその保護者を対象に「扶育決定懇談会」が催されます。

ついては、この扶育決定懇談会に教区学生担当委員、また学生会員が同席し、「学生生徒修養会」や高校生の集い「まなびば」をはじめとする、学生担当委員会及び学生会の諸活動の紹介と参加勧奨を行ってください。同時にその後も引き続いて、行事参加などについて声掛けを積極的にしていただくようお願いします。なお、扶育生名簿が一れつ会から教区長宛に 4 月頃配布されますので、ご活用ください。

上記については、一れつ会教区委員の方と連絡を取り合って、宜しくお取り計らいください。

▼ 婦人会、青年会、少年会との連携

学生生徒たちが将来、教会につながっていくために、継続して育成活動を展開して

教区学生担当委員会の活動

いくことが望めます。特に婦人会、青年会、少年会との連携の上に、教区として一貫した育成体制の確立にご尽力いただくようお願いします。

少年会で育った中学生たちに、高校生の集い「まなびば」や「学生生徒修養会」「春の学生おちばがえり」の案内を行い、少年会とのつなぎをすることが大切であります。

そして、学生生徒の間に青年会員、女子青年としての自覚を持たせ、行事・活動への参加をすすめ、高校や大学卒業後、お道に、教会につながるよう促します。

各会との情報交換や連携を密にして、着実な育成活動の取り組みをお願いします。

▼ 学生名簿の整理と活用

学生層を育成する上で、教区単位で学生名簿を作成することが重要です。毎年、春の学生おちばがえり後に教区配布する一覧を基に、名簿を整理し学生層の丹精にご活用ください。また、学生担当委員会事務局にて名簿作成用の学生カード（B6判）も無料でお分けしていますので、必要な場合は事前にご連絡ください。

なお、希望される教区へ、各行事参加者名簿をお渡ししておりますので、学生担当委員会事務局にご相談ください。

※名簿の管理については、担当者を決めて、名簿の流失や紛失などのないように細心の注意を払ってください。

～直属学生担当委員会の活動～

▼ 「学生生徒修養会」(P. 13) を通しての丹精

次代を担う道の後継者育成の上から、学生生徒修養会大学の部、高校の部への参加を促していただきますようお願いします。しかしそのためには、常日頃から教会につながる丹精にお努めいただくことは申すまでもありません。それぞれの教会につながる学生たちに対して、学生生徒修養会を一つの軸とした育成をお進めください。

▼ 「春の学生おちばがえり」(P. 13) への参加の声掛け

春の学生おちばがえりは、学生にとって一年の活動の集大成の場であり、新たな一歩を踏み出す仕切りの行事です。学生たちの動員活動に理解ある後押しを、また担当委員として一人でも多くの学生たちに声掛けをよろしくお願いします。

▼ 学生ひのきしん隊への参加促進

天理教学生会及び学生担当委員会では、学生ひのきしん隊を組織して、学生たちがおちばに伏せ込む機会としています。学生ひのきしん隊には、教区、直属からの申し込みが可能です。育成活動の一環として、学生ひのきしん隊への参加の呼びかけをお願いします。

◇ おせち学生ひのきしん隊 (P.13)

◇ こどもおちばがえり学生ひのきしん隊 (P.13)

▼ 「道の学生ひのきしん DAY」への参加促進

教区学生会が中心となる行事ですが、道の学生全体のひのきしん DAY として、直属からも各地域のひのきしん会場への参加の呼びかけをお願いします。

▼ 「直属学生リーダー講習会」への参加促進

「直属学生リーダー講習会」は、直属学生会活動の活性化を目指して、そのリーダーがおちばに集い、教会につながる事の大切さや、直属での学生会活動の意義を認識する機会として、学生担当委員会のサポートのもと、天理教学生会直属部が中心となって開催しています。各直属からこの講習会へ参加の呼びかけをお願いします。

▼ 例会 (P. 14) への出席

本部で行う例会等へは、担当委員長をはじめ、参加対象の方は必ずご出席ください。

▼ 「学生層育成者講習会」の開催

学生層をはじめとする道の後継者の育成は、単にその任をいただいている者たちだけのつとめでは、細やかな丹精はできません。教会長夫妻をはじめ、教会に繋がる方々にその意義をご理解いただき、連携を深め、育成に携わっていただく必要があります。活動方針に添った育成を徹底する上からも、各直属において「学生層育成者講習会」をご開催ください。

▼ 学生層育成者の各種本部研修会への参加

◇ 育成に役立つ研修会（P.14）

▼ 「直属 育成に役立つ講習会」の開催

本講習会は、開催を希望される各直属のニーズに合わせて、講習会のプログラムを相談のうえ作成し、本部より委員1名とスタッフ若干名が出向いたします。（例：グループワークを体験したい・エクササイズやアイスブレイクをたくさん学びたい・トレーナーができるスタッフを増やしたい・学生層育成に関わるメンバーのチームワークを高めたいなど）

参加者一人ひとりが人材育成の現場において即戦力となり、スタッフ間のチーム力を高める上にも有効な講習会です。

▼ Happist の活用

学生層育成のための Happist は、“明日につながる学生 Website”として、次のようなねらいをもって編集・発信しています。

- ①お道の教えを正確に伝え、生き方や考え方を示唆する。
- ②学修や春学など、おちばでの行事や各地の学生会の行事・情報を提供する。
- ③共通の話題を提供し、教内学生相互の連帯感をつくり出す。

学生生徒修養会や高校生の集い「まなびば」をはじめとする親里、教区、直属などの育成行事への参加呼びかけの上に、引き続き Happist をご活用ください。

〔URL〕 <https://happist.net/>

○Happist の主な内容

【教えにふれる】

- ・教えをまなぶ（教理を学ぶコーナー）
- ・ちょっとだけいい話（旧・信仰エッセー）

直属学生担当委員会の活動

- ・私立はっぴす学園（漫画・ドラマ）

【Happist ニュース】

- ・Happist ニュース（各行事のレポートなど）
- ・Happist フォト（各行事のフォトギャラリー）

【各行事の案内】

- ・学生生徒修養会、春の学生おちばがえり、学生ひのきしん隊、道の学生ひのきしん DAY、まなびば、などの行事紹介

【学生会】

- ・学生会からのお知らせ
- ・教区・直属学生会紹介
- ・Happist スマイル（学生のはじける笑顔をポートレート写真で紹介）
- ・天理教学生会とは（天理教学生会の活動目的や年間行事一覧など）

【About Us】

- ・Happist とは
- ・お問い合わせ
- ・担当者ページへ

▼ ハッピスト ノット ネット『HAPPIST [NOT] NET』の活用

ハッピスト ノット ネット
学生への丹精の一助として、学生に手渡しできるリーフレット『HAPPIST [NOT] NET』（カラー・A6 版・4 ページ）を毎月発行します。本紙は毎月 25 日に発行し、各教区・大教会に 30 部、直属分教会に 5 部ずつを配布させていただきますので、ぜひとも学生への声掛けにご活用ください。

なお、追加の希望があれば学生担当委員会事務局までご連絡ください。

▼ 『別席のすすめ』の活用（P.16）

17 歳になると別席を運ぶことができます。『別席のすすめ』を活用し、教会長・布教所長子女はもとより、ようぼく・信者子女、さらには未信の学生生徒に至るまで、別席を運ぶことを積極的に勧めていただきますようお願いします。

▼ 直属教会での幅広い育成活動の展開

直属で開催される育成行事はもちろん、おちばで開催される学生生徒修養会などへの参加呼びかけや世話取り、『Happist』のお知らせを含め、その後の丹精など、直接学生たちに接しながら活動を進めていただきますようお願いします。

また、親里管内で学ぶ学生たちに対しても詰所での定期的な会合など、担当者がより身近に接して、教会と離れて暮らす学生たちと教会との距離を縮めることができるよう、きめ細やかな丹精をお願いします。

▼ 婦人会、青年会、少年会との連携

学生生徒たちが将来、教会につながっていくために、継続して育成活動を展開していくことが望めます。特に婦人会、青年会、少年会との連携の上に、直属として一貫した育成体制の確立にご尽力いただくようお願いします。

少年会で育った中学生たちに、高校生の集い「まなびば」や「学生生徒修養会」「春の学生おちばがえり」の案内を行い、少年会とのつなぎをすることが大切です。

そして、学生生徒の間に青年会員、女子青年としての自覚を持たせ、行事・活動への参加をすすめ、高校や大学卒業後、お道に、教会につながるよう促します。

各会との情報交換や連携を密にして、着実な育成活動の取り組みをお願いします。

▼ 教区活動への参加促進

学生生徒は、地域でのつながりも強く、直属からの丹精はなかなか行き届きにくいものです。さらにこの年代は、友達の影響力が、親や他の誰よりも大きいのが特色です。

地域での学生会活動に参加する意義は大変大きなものがありますので、次の教区主催の各行事への参加にも声がけをお願いします。

◇高校生の集い「まなびば」(P.4)

◇大学生の集い「Work&Talk」(P.4)

◇道の学生ひのきしんDAY（立教185年9月頃実施予定）

◇教区学生会総会（随時）

▼ 学生名簿の整理と活用

学生層を育成する上で、教会単位で学生名簿を作成することが重要です。毎年、春の学生おちばがえり後に直属配布する一覧を基に、名簿を整理し学生層の丹精にご活用ください。また、学生担当委員会事務局にて名簿作成用の学生カード（B6判）も無料でお分けしていますので、必要な場合は事前にご連絡ください。

なお、希望される直属へ、各行事参加者名簿をお渡ししておりますので、学生担当委員会事務局にご相談ください。

※名簿の管理については、担当者を決めて、名簿の流失や紛失などのないように細心の注意を払ってください。

～親里における諸行事～

《学生対象》

▼ おせち学生ひのきしん隊

令和4年お節会は新型コロナウイルスのため中止となり、それに伴い「学生ひのきしん隊」も中止いたしました。

令和5年おせち学生ひのきしん隊を募集する際は、学生担当委員会例会にてお知らせいたします。

▼ 学生生徒修養会 大学の部

令和4年3月2日（水）～6日（日）

令和4年3月8日（火）～12日（土）

おちばにお引き寄せいただいた学生たちが、教えを学び、信仰の喜びを味わい、普段から信仰に基づいた生活ができるようになることを目指します。

受講対象は、令和4年1月5日現在、天理大学や天理医療大学を含む、全国各地の大学・短期大学・大学院・専門学校・高等専門学校(4年生以上)に在学し、全期間を通して受講できる者。

プログラム内容は、教義に関する講話、おつとめ勉強、グループワーク、ひのきしん、レクリエーションなど、受講者相互の親交を深めつつ、楽しみながら教えの素晴らしさを学び、今後の歩みに役立つよう工夫しています。

▼ 立教185年 春の学生おちばがえり

令和4年3月28日（月）

道につながる学生がおちばに心を寄せ、真柱様からいただくメッセージを指針として今後の成人を誓い合います。なお、27日に「春まつり（事前収録）」を動画配信します。ただし、新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止する場合があります。

▼ こどもおちばがえり学生ひのきしん隊

少年会本部より「こどもおちばがえり」に関して正式な発表があり次第、学生ひのきしん隊を募集する場合は、学生担当委員会例会にてお知らせいたします。

▼ 学生生徒修養会 高校の部

※開催日は2月25日例会にて発表予定

全国の高校生がおちばに集い、教祖のおひざもとで教理を学び、合宿生活を通して信仰の喜びを味わい、次代を担うようばくに育つことを目指します。

受講対象は、令和4年5月25日現在、高等学校に在学し、全期間受講できる者です。

なお、親里管内については天理高等学校第Ⅰ部の自宅通学生に限り受講可能です。

プログラム内容は、教義に関するレクチャー、ひのきしん、おてふり・鳴物練習、レクリエーション、グループワークなど、受講者相互の親交を深めつつ、楽しみながら、信仰の素晴らしさに触れてもらえるよう工夫しています。

《担当者対象》

▼ 例会

毎月 25 日午後 4 時より

毎月 25 日に、学担のスタッフ、各教区・直属の学生担当委員長にお集まりいただき、各行事・活動の案内と報告を行います。また、随時、学生層育成にまつわる様々な話題を提供します。

諸行事の要項などの資料もお渡ししますので、委員長各位には必ず出席していただき、万が一都合がつかない場合は、代理の方の出席をお願いします。

▼ 育成ミニ勉強会

令和 4 年 4 月 25 日（月）、6 月 25 日（土）

教区・直属の担当者がどんな状況においても教祖の温もりを感じ、親心を尋ねることの大切さを実感するとともに、これからの育成のヒントを学ぶ機会となるよう、テーマ「教祖ならば、、～教祖の親心をたずねて～」の下、勉強会を行います。

要項、申込書は立教 184 年 12 月例会にて配布しております。申込締切は 2 月 25 日です。

▼ まなびば研修会

令和 4 年 4 月 26 日（火）～27 日（水）

令和 4 年度に開催する高校生の集い「まなびば」のプログラムを、実際に体験を交えながら紹介し、各教区で実施するための研修会を行います。

▼ 学生担当者大会

令和 4 年 11 月 25 日（金）

学生担当委員会の総会とも位置づけられるもので、教区・直属の学生担当委員長をはじめ学生層育成に携わる者が一堂に会し、学生層育成へのより真剣な取り組みと積極的な活動推進を誓い合います。

▼ 「育成に役立つ研修会」

令和 4 年 11 月 27 日（日）～28 日（月）

本研修会では、人材育成に役立つプログラムについて、現場のニーズに即して学ぶことができるよう、以下の 4 コースを設ける予定です。

◇〈プログラム体験コース〉

本コースでは、学生層育成行事で使用しているプログラムの有効性を体験するとともに、その心得を学びます。

新たに学生層育成に携わる方や、学生が学生層育成行事でどんなことを体験しているのか知りたい方におすすめです。

◇〈トレーナーコース〉

本コースでは、各種育成行事で使用しているエクササイズ（グループワーク）の理解を深め、その進め方を習得するとともに、トレーナーとしての心得を学びます。

エクササイズの進め方を学びたい方や、トレーナーを経験してみたい方におすすめです。

◇〈プログラミングコース〉

本コースでは、育成行事の企画、立案、プログラム作成について学び、行事開催の意識を高めてもらいます。

教区、直属において各種育成行事の企画、立案に関わる方や、プログラムの組立てについて学びたい方におすすめです。

◇〈育成者支援コース〉

本コースでは、育成者としての心得に気づき、自分にどんなことができるかを考えてもらいます。

育成者としての心構えを学びたい方や、学生層育成について意欲はあるが、学生との向き合い方に悩んでいる方、年齢を問わず学生層育成について、自分にできることを探している方におすすめです。

～刊行物・販売物・その他～

☆＝道友社販売所でも販売しています。

▼ 定期刊行物

- ◇ 『学生担当者報』 B5 判（月 1 回発行）

学生層育成の行事や活動に関する情報を提供することを目的に、毎月発行しています。教区・直属学生担当委員会には希望される部数を配布しています。また、TSA website (<https://tsa.tenrikyo.or.jp>) でもご覧いただけます。

▼ 出版物

- ◇ 『別席のすすめ』 5 円 B5 判三つ折（両面カラー）

- ◇ 『信心事始』 深谷太清 著 300 円 A5 判 136 頁 ☆

『Happist』2008 年 6 月号から 2009 年 5 月号の教理コーナーにて連載した「信心事始」の単行本です。未信仰の家庭で育った学生会活動に参加している「歩くん」が教会長子女の「香ちゃん」と教会をたずね、そこで教理や信仰のあり方などを学ぶという物語です。会話形式の文章で、信仰に興味を持ち始めた人向けのわかりやすい内容になっています。

DVD

- ◇ 「学生担当委員会行事紹介」 20 分 500 円

「春の学生おちばがえり」、「高校生の集い まなびば」、「学生生徒修養会高校の部」、「学生生徒修養会大学の部」の内容を紹介したもので、道友社が作成しました。これらの育成活動の動員や勧誘にご活用ください。

▼ チラシ・募集要項

- ◇ 「春の学生おちばがえり」勧誘チラシ

1 枚 5 円 B5 判（片面カラー）裏面無地

「立教 185 年 春の学生おちばがえり」に向けてのチラシを 1 枚 5 円で販売いたしております。どうぞご活用ください。

- ◇ 「学生生徒修養会 高校の部・大学の部 募集要項」無料配布

学生生徒修養会への勧誘、動員にお役立てください。

※頒布開始日 高校の部：3 月 25 日

大学の部：11 月 25 日

販売物

◇ C D 『希望の花』 100 円

「春の学生おちばがえり」のテーマソング『希望の花』を収録したC Dを販売しています。なお、『希望の花』は、TSA website にてダウンロードも可能です。

テーマソング普及の為に活用ください。

◇ Happist タオル (全 4 色) 300 円

デザインは4パターンあり、頒価は300円です。『Happist』のロゴを基調にし、首に掛けやすいマフラータイプにしています。育成行事の記念品等にご利用いただき、『Happist』のPRの上に活用ください。

その他

◇ T S A web site <https://tsa.tenrikyo.or.jp>

学生や学生層育成に関心のある方に必要な情報をタイムリーにお届けできるよう頻繁に更新をする予定です。

従来は学生会のページで、おちばで開催の行事案内や報告などを紹介していましたが、学生向けの情報は〈Happist〉に移行しました。学生担当委員会のホームページとして、各種提出書類や例会資料（一部を除く）、学生担当者報もダウンロードできるようになっています。是非ともweb site を活用ください。



発行日 立教 185 年 1 月 25 日

天理教学生担当委員会

〒632-0035 天理市守目堂町213-4

おやさとやかた真南棟3階

TEL 0743-63-2489 (直通)

0743-63-1511 (代表) 内線5817

FAX 0743-62-5780

WEB <https://tsa.tenrikyo.or.jp>

E-mail tsa@tenrikyo.jp

400 部